

# 「もーこまっちゃんようー」とおっちゃんが いいました。



子どもの里の夜まわりは、「里夜まわりだより」より抜粋しました。子どもたちの声から、釜ヶ崎の労働者がどんな状態におかれているか知ることが出来ます。

## 子どもが変る

## 大人も変る

釜ヶ崎キリスト教協友会の夜まわりのうち、土曜日はこどもの里が中心になって夜まわりをしました。こどもの里グループに山王子どもセンター、津守の学童保育所「芽」が加わった子ども主体の夜まわり班です。子どもたちが自分たちの手で味噌汁やおにぎりを用意し、夜まわりのときに渡します。また、日雇い労働者がなぜ、野宿を強いられるかについても学習しました。

ところで、なぜ、子どものグループが今年、夜まわりに参加したのか、この点について少し報告してみます。

動機はいくつかあります。そのうちの一つは、やはり昨年夏（一九八六年八月十八日～十九日）に実施した地域の子ども実態調査です。実態調査の中で、釜ヶ崎の子どもたち特に低学年の子どもたち

が、釜ヶ崎の労働者や野宿する労働者に差別意識や偏見をもってることが明らかにされました。これは一つの衝撃でした。それに追い打ちをかけたのがさきに述べた十月の四天王寺のエアガン事件とそれに続く野宿労働者に対する少年たちによるいろいろな襲撃の実態でした。

この現実をみるにつけても、この低学年の子どもたちもそのまましておく、少年たちと同じ道をたどるのではないかと恐れました。でも実態調査は、子どもたちの別の面をも明らかにしてくれました。釜ヶ崎の十五、六歳の少年たちの中で、日雇い労働を通じ、日雇い労働や日雇い労働者の実態について知った少年たちは、過去を反省しているのです。かつてはかれらも野宿労働者をおちよかったです。ピンを投げたりしたのです。

しかしなぜ、野宿する状況に追い  
やられるか、日雇い労働とはどん  
なことかを知ったとき、自分のや  
ったことの誤りに気が付き出したの  
です。そしてもし他の少年たちが、  
そんなことをしたら阻止すると言  
っています。

これは大きなヒントです。たし  
かに、低学年の子どもたちは、日  
雇い労働はできません。しかし、  
日常と結びつけて日雇い労働につ  
いて学ぶとき、子どもたちの日雇  
い労働者像は変わるはずだとの確  
信をもちました。

その場として、夜まわりと日雇  
い労働および日雇い労働者につ  
いての学習活動でした。

この活動がどんな結果をもたら  
したかは「里夜まわりだより合本」  
に詳しいので省略します。

ただ、次の点だけ強調しておこ  
うと思います。

一つは、子ども自身が変わった  
ということです。昨年夏と同じア  
ンケートを同じ子どもに再度して  
みました。とくに、釜ヶ崎の日雇  
い労働者についての項は、白紙だ

ったり、「知らん」だったりした  
のですが、子どもなりに懸命にこ  
たえています。

例をあげると次の通りです。前  
回（夏）は、日雇い労働者の仕事  
について「知らない」と答えた子  
ども十人が、今回（冬）は「知っ  
ている」と答えています。

夏・日雇い労働者の仕事につ  
いては知らない。冬・高い所で働い  
ている。ダンボールを集めている。  
ダンボールを集めているおじさん  
が実は、日本橋で野宿しているお  
じさんであることが、夜まわりに  
参加して理解できたようです。

（小学四年生男子）

冬の夜まわりに初めて参加し、  
釜ヶ崎の労働者について学んだ小  
学三年生女子はこう答えています。  
「あぶない仕事」についている、

さらに釜ヶ崎に対する希望として  
「外で寝るおっちゃんたちが家で  
住めるようになってほしい」。こ  
れは、学習と夜まわり参加の成果  
といえましょう。

小学高学年と中学生は、日雇  
い労働者について学習したことが身

についています。日雇い労働につ  
いても「土方」「ダム建設工事」  
「原子力発電所」と回答していま  
す。釜ヶ崎、日雇い労働について  
知的にも体験的にも学習したこと  
が、かれらの認識を変えたと言え  
ましょう。

二つは、子どもたちが、日雇  
い労働者の問題を自分の課題、生き  
方としてとらえ直していることで  
す。たとえば日雇い労働について  
友だちに話す、学校の教師にパト  
ロールについて報告し、参加を求  
める。その教師が学校内で他の教  
師に呼びかけたり、学級通信で子  
どもたちに知らせていく、子ども  
にせがまれて親が夜まわりに参加  
し、釜ヶ崎や越冬について知るよ  
うになるといったような出来事が  
起きています。

三つは、ともすれば一つのグル  
ープ、一つの地域にとじ込められ  
がちな子どもが、そんな境界線を  
越えて交流しはじめたことです。  
それだけではありません。学校教  
育や大人たちが言う「子どもは子  
ども、大人は大人」という枠も無

意味だということに気付いたこと  
です。萩之茶屋中公園（四角公園）  
の中央にあるフェンスなど、無駄  
の代物と映ったことでしょう。あ  
の中央のフェンスは、「地域住民  
の知恵」です。ここでも、子ども  
たち、地域に生活する子どもたち  
は「地域住民」に数えられていま  
せん。

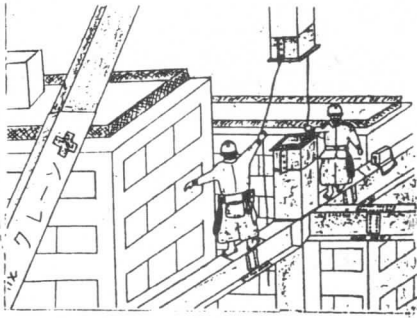
最後になりますが、ここ数年、  
子どもと大人の共存の場としてす  
めて来た「生活センターづくり  
運動」が、ますます必要だと痛感  
したことです。子どもと大人が、  
明日の釜ヶ崎に向けて交流する場  
こそいま求められていることを夜  
まわり活動は、実証したと言えま  
す。

子どもの活動は、これまでとも  
すれば閉塞的になりがちな釜ヶ崎  
の活動に、一つの風穴を確実にあ  
けました。

# 学習会

子どもの夜まわりに参加した日雇い労働者に、どんな仕事をしているか、絵をかいてもらったり話をしてもらいました。(87・2・14)  
 ・なると大橋のワイヤを半年おきに取りかえる工事よ。

◎ 吉岡さんが書いてくれた絵を見て： 建築 とびの仕事



鉄骨と鉄骨をつなぐりとしてい

所。足がちょっとすべると危いなるん



△ クレーンの組立て・鉄骨つり  
 一番危険な所で二百三十メートルの高さの所で働いた。点検のために登って行く。雨の日などはすべって危い。けがしても保証はないだからけがしたら、外で寝なければならなくなる。  
 ・建物の設備の仕事をしているよ。  
 △ 電気・ガス・ダクト等天井の狭い暗いほりだからけの所に、はいつくばって取付ける▽  
 ・下水工事をしたよ。  
 △ 家から道路の本管につながる工事  
 もとある管に、新しい管をつなぐ時がくそうて、くその流れん時を見はからってつなぐ。そのしんどさ。そういう人のおかげで、うんこが家でできます。  
 ・三月四日から、仕事をやった。初日は、池のバリケードをつぶす仕事やった。なれてない道具をふ

りまわし、いつの間にか、あせをかいていた。  
 二日目は、最初にえいじが行った現場やった。たんぼの中で、穴をほった。  
 さて、三日目は、えいじと二人で現場に行った。  
 三日目は、コンクリートの上につもっているすなや土、ゴミなどをほーきで、そうじする作業や、

足場のかいたい。  
 四日目は、一緒のとこやった。AM 10時になると、ひょうが、ふってきた。んで、雪がふってきて、仕事は、PM 2:30までしかでけんかった。んで「やったーはやくかえられる」と思ったら、雪のせいで、じゅうたいになって、かえりついたのでAM 2じぐらいやった。

(17歳)

## 6 学習会から その5

### PART I

① あいらやんが書いてくれた絵を見て： 道路工事

地面をほったりして何かつくる時、まず、ほぞ(アスファルトやコンクリート)をほかす。

①は U字溝  
 ひっくり返して雨水やすくた水を流すみせに使う。



①～⑩ 道具の名前をあとよう!



んたちが、寒そうに、ねていました。おもしろかったことは、おっちゃんに、「みそ汁いりますか」といったらおっちゃんが、「いる」といって、おにぎりいりますか」とまたいって、「いる」といって、あげて、そして、「こぼれたらやけどするよ」といって、「ねながら、のんだら、こぼれるで」といったら、おっちゃんが、「もーこまっちゃんよ」とおっちゃんがいいました。とても、おもしろかったです。(小3)

●おっちゃんと あくしゅした。おっちゃんは よろこんでた。おっちゃんは わらってた。おっちゃんが かわいそうやった。おっちゃんは だんぼーるをあつめる。おっちゃんに おにぎりともそしるあげた。おっちゃんに もーふかけた。(5歳)

●ドヤが1500円でたかくてとまれないからそとでねてると、いったおっちゃんがいた。こうおのじてんしゃにのったふたりぐみが、おっちゃんのかおをいしころみたい

なんでなぐってにげた。大人のおっちゃんにねてたらけられた。中学生の五人組にねてたらあたまをけられた。「たすけてくれ。もーあかん」と、いった。病気のおっちゃんを見た。(小3)

●おっちゃんに、「毛布をどうぞ」とゆって渡したら、「こんなんいらん」ってゆわれて、私は「おっちゃん凍死するでって言ったら、すなおに毛布をかぶってくれたのでびっくりしました。ちかくに、ガードマンのおっちゃんがいてこっちの方をみてたので、いややった。あたしら、あたりまえのことしただけやのにーッとかんがえた。(中2)

●んで、1人のおっちゃんが大人の人にわけもないのにもんくを言われて、ダンボールをひっくりかえされた、て話してくれた。そのおっちゃんによせ屋に行ってもらった伝票を見せてくれた。ダンボ

## 毛布をどうぞ

●おっちゃんに、「毛布をどうぞ」とゆって渡したら、「こんなんいらん」ってゆわれて、私は「おっちゃん凍死するでって言ったら、すなおに毛布をかぶってくれたのでびっくりしました。ちかくに、ガードマンのおっちゃんがいてこっちの方をみてたので、いややった。あたしら、あたりまえのことしただけやのにーッとかんがえた。(中2)

ぼくが、みそしるを、くばりました。ぼくは、かえって、おっちゃんのことを、かんがえたら、ねられませんでした。ぼくは3じまでねられませんでした。ぼくは、おっちゃんを見て、かわいそうだなとおもいました。ぼくは、おにぎりをもったり、ぼくとをもちました。(小1)

●おっちゃんに、「毛布をどうぞ」とゆって渡したら、「こんなんいらん」ってゆわれて、私は「おっちゃん凍死するでって言ったら、すなおに毛布をかぶってくれたのでびっくりしました。ちかくに、ガードマンのおっちゃんがいてこっちの方をみてたので、いややった。あたしら、あたりまえのことしただけやのにーッとかんがえた。(中2)



●それに、うそをついたおっちゃんもいます。そのおっちゃんは、四角公園のいすのとこに「いつも青カンをしている」ととききました。どういうふううそをついたかという、私はおっちゃんにおにぎりと、みそ汁をあげたら、そのおっちゃんは、「ぼくおにぎりもらってないで」っていつてきた。私は、おっちゃんに、「うそついたらあかん」といった。そのおっちゃんは、それから、すぐねてしまいました。とてもおもしろ

ろいというか、はらたつというか、とてもたのしいおっちゃんでした。

一人のおっちゃんがあるいていたらもう一人のおっちゃんがおっちゃんとなぐりあいをしていたから、私は「やめや。両方もけがするやろ」といいました。おっちゃんが、ねながら一人ごとをいうていた。とても、おもしろかった。(小6)

●今回は2回目で南回りをまわりました。今日はたくさん仕事をしただとおもいます。：ぼくの今おもうことはさくぶんなんかをかいておっちゃんたちにぼくたちのかいとおもいをみせてあげたいとおもう。

●おっちゃんに、ぼっちゃんありがとおと、ゆわれた。そして、ぼくらもありがとうといいました。そしたらおっちゃんがばいばいといいました。(小3)

●よまわりをした。けがをしているおっちゃんがおった。そのおっちゃんは、「ようてこけた」と、言っていた。だけど、しのぎにあったと思う。ほおがはれていた

たそうだった。(小4)

●おっちゃんに ほっかいりをぬくめてあげた。(5歳)

●おっちゃんに おにぎりあげた。おっちゃんに みそをあげた。おっちゃんに もふかけた。おっちゃんに こうこうせいがおおきなをしをなげた。おっちゃんがいぬおかっていた。どんなおっちゃんがおるかわからへんからいく。びょうきしてのおっちゃんがおるかからんからいきたい。(5歳)

### みんなパトロールしたらいい

●私の中学校でも、よくしんいまみや〃と〃三角公園〃にはこわいおっさんがねてるとかゆうてる子がいる。それにクラブの試合で新今宮えきから電車にのるとき、友だちが、「お母さんがあのへんこわいから、みんなでいっしょにいきやうてゆうてたし、あたしもこわいから、みんなでいこおや」とってゆわれた。私が「ぜんぜんこわいかわい」とってゆうても、なか、頭から「こわい、こわい」と

思ってるみたいで、ぜんぜんき

てくれへんかった。〃こわい〃とかかきたない〃とか思ってる子や大人はおっちゃんらをなぐったり石ぶついたりすんのとたいしてかわらへんと思う。ええかっこして「かまのおっちゃんらをバカにするのは悪いことや」とかゆうてる人らも心の中ではやっばり青カンスんのはきたないなとかあると思う。私も去年の秋までは、頭ではわかってもやっばり「いややな」とか思うことが何回かあった。でもパトロールやうて、おっちゃんらの話をきいて、どつかれた人をじかに見たりすると、きかない〃〃いやや〃とゆう考えはきれいさっぱりなくなつた。だからみんなパトロールをしてみたらいい。私は、パトロールに行きはじめで、しょう店がいとかいرونなどこで道ばたでひっくり返ってぐーぐーねてるおっちゃんを見る(さむくないかな)とか(あのおっちゃんだいいじょうぶやるか?)とか思うようになってきた。今は、〃こわい〃とってる私の友達も1度パトロールをすれば考え方がかわるんちゃうかなあ。(中1)

●土よう日みちでねてるおっちゃんにおにぎりとかいけるとかふとみそするあげた。ねてるおっちゃんが好きなかてよかた。たき日しでねてるおっちゃんがおった。いつもありがとうとゆうてくれたおっちゃんがおった。おっちゃんがきょうは、いらんといいつた。みそするおにぎりをおいしそうにたべてた。(小1)

●とちゅうで片目のおっちゃんに会った。仕事で目をけがしたと、いうてた。体のあつちこちが悪いってゆうてたけどすごい元気があった。大びょういんはわるいってゆうてた。「てんてきやうては、きよなら」とってゆわれたそーです。「しんどい?」ってきいたら「がんばれるとこまでがんばるわ」といってました。(中1)

●のえわかまのおっちゃんがい

ちゃんに石とか、ピンをなげるやつを、見つけて走っておいかけたけどにげられた。ぼくは、くやしかった、はらたった、だから、ねいちゃんが、夜中の8時にもう一度行くって、言うと思ったからぼくもいくことにした。そのけっか、にげたやつは、出てこえへんかった。はらがたたくやしかた。今度行く時は、ぜったいつかまえようと思つた。

\* (16歳)

• おっちゃんらがおかねもないしもうふもないし、かわいそうやつた。おっちゃんたちおかねとかないし、ちょっとだけあるし、ちょっとだけでおかずとかかわれへんひともおる。おっちゃんらがつくえとかかわれへんしおうちとかないしかわいそう。おっちゃんらべんじょないしくつも1つしかないし、ちりがみもないし、トイレのときこまるとおもう。どこかべんじょがしにくいのしんどいし。ストープとかないし、マツチとかないし、いたみたいないっぱいさがしてきてマツチさがしてきて火つけて、てぬくめるねん。ふくとかかわれへんしとそれきとかなあかんしさむかつたらひえこん

でしよう。

\* (6歳)

• 昨日、1月17日から始めた夜まわりの最後の日だった。今までずうっと夜まわりをしてきてとても良かったと思う。いろんなおっちゃんに逢えたから。昼にすれちがったりして逢うおっちゃんと夜寒いの宿まる所がなくて外で毛布もかぶらんと寝てる人、いろんな話をしてくれる人、その他にもいろんなおっちゃんに逢った。今まで、パトロールをして逢ったおっちゃんらには共通点がある。それは、笑顔でおみそ汁やおにぎりを受けてくれること。そりや中には、「いらん」とかゆう人もいてるけども、ほとんどのおっちゃんか笑顔で受けとってくれる。自分達が苦しい思いをしてんのに、その苦しさが全然わかれへんくら

## おっちゃんいっぱいはなしてくれだ

• さいごのパトロール。おっちゃんたちが、あんなに、ねているとははからなかった。さいしょべんきょうして、いろんなことがはかった。日本ばしは、いっぱい、は

いに。こつちが反対に「かせひきやな」って言われる。もし、あたしがおっちゃん達みたいになら外で寝やんなあかんようになった時、あたしは絶対パトロールにきてる人に苦しい事や悲しい事をぐちってしまおうと思う。それで、おっちゃんらは笑顔で接してくれる。だから、それであたしらの心がほぐれるみたい。もし、おっちゃんらに泣かれたりしたら、あたしらその場でどうしていいかわかれへんよいうになるんとちゃうかな？ 同情みたいなんするだけで。「元氣出して」しかよ一言わんよいうになるんとちゃうかな。最後におっちゃんがいい方に減ってくれたらうれしいけど、おっちゃんらが悪い方に減ったら、いややなあって、Yさんと話しました。(中2)

なしおしてくれだ。

(小1)

• 先週は、南まわりへ行き、まあまあだったんで先週は、雪もふつてたし「おっちゃん達大丈夫かな

あ」と思い、思ったとーり、おっちゃん寒さでガチガチなあってセンターのやねの下まで、はこびたいへんでした。んで雪だけ水でびちょびちょん所でねてるしシートもひいてあげてモーフもあげてすぐなくなった。みそ汁(中1) かった

\* (中1)

• 今回で、日本橋まわりは3回目ですがいままでいった中でいちばんさむかったけど、おっちゃんたちはいつもより「ありがとう」といういいかたがやさしくて、うれしかった。(中3)

\* (中3)

• 7回の夜まわりに参加し、日本橋には、3回いった。今日でんでんタウンにいった時、先週はシャッターがなかったのに、2つの店の前にシャッターがしてあった。あのままだと他のところもシャッターすると思う。そしたらおっちゃんらのねるとこなくなる。これ以上おっちゃんらのねるとこへらさんといほしい!! (中)

\* (中)

• 親からは、行くの反対されてたけど来て本当によかったと思う。おっちゃん達に渡す時すごい怖く

かんじた。渡した時「ありがとう」「おおきに」など歩き出しても言っていた。カイロおにぎり みそ汁 毛布どれ渡しても礼をいっばいい ってくれる。まだどこか寝てるお っちゃんもおるかもしれないけど 少しでも人が助かることはいいこ とだ。

(中2)

●私の家の近くにも、労働者のお っちゃん達がねています。何か力 になってあげたいんだけど私は遠 くから寒くないのかな？おなかなす いてないかな？と、見て見ぬふり をしてました。今、思えばなさけ ない話しです。

(中2)

●ゲームは、おもしろかった。わ たしたちのくみは、ゆうしょうし りました。そして、1ばく2日の合 宿のがっしくでしらない子たちと 中よくなりました。

そして、センターが5時にあい たら、おっちゃんたちが、いっぺ んにいっばい入ってきました。そ して、センターにいっていろいろ なことがわかりました。そして、 タウンアドベンチャーでかんしテ レビカメラをさがしました。かん しテレビカメラは、あちこちに、

いっばいありました。しかし、セ ンターの中にあるかんしテレビカ メラの9このうち、1つは、みつ けられなかったから、3いになり ました。

(小5)



朝5時のセンター

●んで、あさ5時ごろからセンタ ーにいって。車の前のまどのとこ ろに、仕事の内容とか食事あるか とかかいてあるポスターをみてま わった。仕事のかずがすごくいっ ぱいあった。子どもがぞろぞろ集 団であるいってたからと思うけど、 だいぶおっちゃんらに文句ゆわれ た。そんなときはムカついたノん でいつものときはどっかしらんけど おっちゃんが、考えるほどおらん かった。んで、タウン・アドベン チャーのとき、びっくりした。カ

メラがすごいいっばいあったから。 信号きの上はほとんどあった。な んであんなカメラがいるんかなし ？しこうそ(たぶん)とこなんか すごいカメラをかくすのこってる とおもう。わざわざそんなことせ んでもいいのに。

(中2)

●ぼくは、はじめゲームおしたと きけっこんしきゲームがおもしろ かったしとらんぶのすりっばでた たくやつがおもしろかった。 しこうそう のところがみつ かれへんかった。エスカルゴノと ころがあんまりわからなかった。 さんかくこうえんのところがわか りました。つぎわセンターのこと クイズごはんだいお、きゅうりょ うからひかれへん。あいりんかい かんのところかわからなかった。 おれもまねしてけつでした。

(小3)

●おっちゃんは、さむがって ふ るえて、いました。そして、おっ ちゃんが、おふとん、ちょうだい とゆうたからわたしはかぶせてあ げました。そして、みんな、おみ せるとかホッカイろうとおにぎ りをあげました。そしておっチャ

んが、ありがとうなーといいまし た。とてもかわいそした。お っちゃんは、いしをけられてほ ったがふくれてした。そし て、いろいろのおっちゃんが、だ んばをを あつめていた。そし て2たりのをっちゃんかしてまし た。そしてあと7人は、けがをし ました。

(小2)

●新今宮の向の、あきちで、けが をしてる、おっちゃんが、ねてい た。どうしたんと、きくと、こけ たと、いっていたけど、おそらく しのぎに、やられていると、けが を、みて、思った。その、おっ ちゃんと、あう、前にも、ようつう で、くるしんでいるおっちゃんが いた。その、おっちゃんに、おに ぎりと、みそしるを、わたすと、 おいしそうに、みそしるをたべて くれた。しゃべっている間に、そ の、おっちゃんが、たいてた、火 が、もえそうになりして、あぶな かった。けがをしてる、おっチャ んに、てあてをして、から、水よ う日に、センターの、いりょうセ ンターにきてと、約束してくれた。 今でも、けがをしてる、おっチャ んが、きになる。

(17歳)



# 九州の寄場に行った

松 永 守

ことで、バラシの仕事は、みんな、労働者のおっちゃんたちが、やっていた。ハンマを、ふり上げて、バラシ作業をやっていた。俺ら2人は、エスカレーターのガラスの掃除をしたり、柱にキズがつかないように、ベニヤ板で角を、テープでとめたりした。

その日は、7千円もらった。福岡の日雇は、7千円は、いいお金だった。(注：釜ヶ崎では九千円) 島田さんに聞くと、普通は、6千〜6千5百円くらいだといっていた。

はじめは、一人で、ちょっと、あそびに行こうと思っていた。そしたら、えいじが『それやったら、二人で行こう』と言うことになった。

福日労(福岡日雇い労働組合)の島田さんの家にせわになることにした。

初めの日の朝、6時におきて、バスで、30分くらいの所に、九州の寄場、築港があった。その日は、見学で行ったけど、手配師が、2〜3人、よって来て「兄ちゃん、仕事、行かんか」と声をかけて来た。

その時は、「見学しに来たから、明日っから行きますわ」とえーじと2人で、言うた。

次の朝、初めて、日雇仕事をした。デパートの改装工事やった。若者はあぶないと言う

日よう日、水上公園で、労働者の人が、あつまって、組合で、炊出しをして、集会をした。そして、戦後政治犯として、初めて、死刑を求刑された、東アジア反日武装戦線「狼」の人たちを支援するハンストのことも話してた。日〜火までの3日間、俺とえーじは、月〜火の終りまでハンストをした。お腹すいて、たまらなかつた。

また、3日間、木〜土まで日雇い仕事をした。本当にいい体験をしたと思います。このごろは、また行きたいと思ってます。

## 福岡そして沖縄で 日雇労働者の運動が はじまった。

東京・山谷、横浜・寿、名古屋・笹島、大阪・釜ヶ崎、福岡・博多

これらは、日雇労働者の街というより、寄場という方が正確かもしれない。とくに笹島や博多の場合は、ふさわしい。この二つの寄場は、毎日、早朝、数時間だけ存在する。そして、人々の視界から消えていく。それは、そこにドヤ街が、東京や大阪のように存在しないからである。しかし、早朝の寄場は、この社会が、日雇い労働者を必要としていることを証明する。

その寄場に釜ヶ崎の二人の若者が出掛けた。日雇い労働を経験し、日雇い労働者の運動に参加した感想をよせてくれた。それが上記の文章である。青年たちが、懸命に働き、ハンストに参加することによって、釜ヶ崎とは違う体験をすることが出来たのではないか。

名古屋や福岡は、運動が日雇い労働者の存在をクローズアップした。

名古屋では、「ドッコイ人間節」(横浜寿の日雇い労働者の姿を記録したもの)の上映運動が、名古屋駅構内の日雇い労働者、とくに失業し野宿を余儀なくさせられていた日雇い労働者に注目する結果になった。炊き出し活動、医療活動、さらには夏祭り等の文化活

# 福岡も山谷も 大変だ

竹平 栄治

福岡には一月下旬～二月中旬まで行っていた。

最初は3～4日位で行こうと思ってたけど、福岡で仕事(日雇労働)を3日したから長い間おれた。その2週間程の間に色々ありました。

最初に、日雇労働をした事3日だけやけどふつうの仕事の一ヶ月分ぐらいの値打があったと思う。

もう一つは、丸一日やけどやった〃ハンスト〃。日雇労働もハンストも初めての体験だったから何するんかわからなかった。飯ぬいてから約40時間たってやっとハンストが終った。もうその時は腹と背中がくっつきそうやった。

福岡での越冬パトロール(夜まわり)一回

だけしか参加できなかった。ちょうど福岡に行つて初めてのパトロールが福岡の越冬最後のパトロールだった。だから一回しか参加できなかった。むこうでのアオカン者(野宿労働者)はだいたい一五〇人～二〇〇人ぐらい(釜ヶ崎の中のアオカン者の人数ぐらい)。アオカンしている人のだいたい若い人でした。

なんで仕事バリバリできそな人がアオカンしてるんかわからなかったけどパトロールをしている時にいろいろ話が聞けた。

一つは仕事があまり無い。

二つめは仕事の賃金が安い。釜ヶ崎では八千円～八千五百円ぐらい、福岡で六千円～六千五百円ぐらい。

三つめは白手帳をもっている人がすくない。福岡の日雇労働者の2割か3割ぐらい白手帳をもっている人がいるだけ、又、白手帳をもつていても印紙をはる業者がすくない。

そんな悪条件がかさなって大変やと思ひました。

山谷にも行きましたがやっぱりどここの寄せ場も大変でした。

動、日雇い労働組合の誕生、そして笹島労働者会館の建設へとすすんでいった。その間、越冬期の労働者の臨時宿泊をめぐる名古屋市の対立で、三人の連署者を出し、この夏、一人に十か月、二人、四か月の求刑があった。しかし、この間の裁闘争もまた名古屋の運動を広げ、深める結果をまねいた。

名古屋笹島は、まさに朝、幻のように名古屋駅前であらわれ、七時すぎると姿を消す日雇い労働者の八街Vであるが、運動は、そこにある矛盾をあらわにした。とくに、越冬期の活動は、日本の社会が、日雇い労働者に対して、どんな存在であるかを見事に証明したといえよう。

福岡の日雇い労働者の存在もまた運動によってよりあきらかになった。二度の越冬活動を経験する中で、日雇い労働組合が誕生し、労働者の権利をまもる闘いが始まった。もちろん、福岡には、製鉄産業の中で、下請・臨時工があり、労働下宿という飯場もあった。しかもその背後には、朝鮮人強制連行による炭鉱労働があった。この点は、映画「山谷」やられたらやりかえせ」が、描いている。むしろ、福岡は日雇い労働運動の原点なのに、今日まで立ちおくれたのはなぜだろうか。また、この六月には、沖繩に日雇い労働組合が生まれた。沖繩の失業は、本土にくらべて高い。中でも日雇い労働者の失業問題は、さらに深刻である。組合運動の誕生が、労働者にとって一歩前進であることを願う。